

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2020-72830

(P2020-72830A)

(43) 公開日 令和2年5月14日(2020.5.14)

(51) Int. Cl.	F I	テーマコード (参考)
A 6 1 M 39/10 (2006.01)	A 6 1 M 39/10 1 3 0	4 C 0 6 6
A 6 1 M 25/02 (2006.01)	A 6 1 M 25/02	4 C 1 6 1
A 6 1 B 1/015 (2006.01)	A 6 1 B 1/015 5 1 4	4 C 2 6 7

審査請求 有 請求項の数 26 O L 外国語出願 (全 31 頁)

(21) 出願番号	特願2019-182046 (P2019-182046)	(71) 出願人	500103074
(22) 出願日	令和1年10月2日(2019.10.2)		コンメッド コーポレーション
(62) 分割の表示	特願2019-548471 (P2019-548471) の分割		アメリカ合衆国 ニューヨーク州 1 3 5 0 2 ユチカ フレンチロード 5 2 5
原出願日	平成30年2月23日(2018.2.23)	(74) 代理人	110000796
(31) 優先権主張番号	15/896, 291		特許業務法人三枝国際特許事務所
(32) 優先日	平成30年2月14日(2018.2.14)	(72) 発明者	シルバー ミキヤ
(33) 優先権主張国・地域又は機関	米国 (US)		アメリカ合衆国 0 6 5 1 0 コネチカッ ト ニュー ヘイブン オレンジ ストリ ート 1 5 アパートメント 4 0 4
(31) 優先権主張番号	62/468, 417	(72) 発明者	ケイン マイケル ジェイ.
(32) 優先日	平成29年3月8日(2017.3.8)		アメリカ合衆国 0 6 4 1 3 コネチカッ ト クリントン ウィリアム レーン 3
(33) 優先権主張国・地域又は機関	米国 (US)		

最終頁に続く

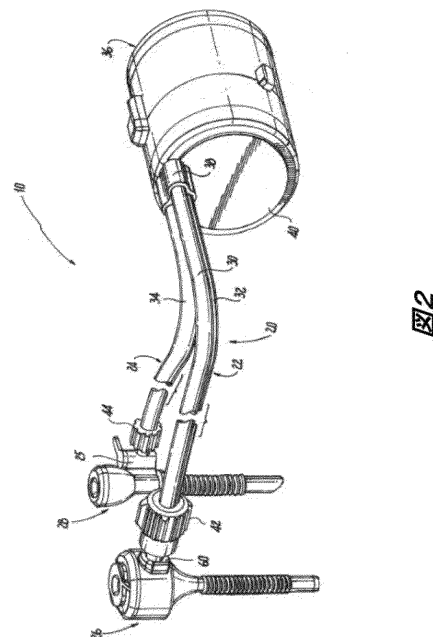
(54) 【発明の名称】 シングルルーメンガス密封アクセスポートおよびシングルルーメン弁密封型アクセスポートを備えたガス循環システム用のマルチルーメン管セット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】患者の外科手術空洞内での内視鏡外科処置または腹腔鏡外科処置を実施するための新しい有用なシステムを提供する。

【解決手段】患者の外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための加圧ガスライン 3 0 および戻りガスライン 3 2 を有するデュアルルーメン部分 2 2 と、患者の外科手術空洞に送気用ガスを送達するため、および患者の外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するためのガス供給および感知ラインを有するシングルルーメン部分 2 4 とを含むマルチルーメン管セット 2 0 と、管セットのデュアルルーメン部分と連通する第一のガス密封シングルルーメンアクセスポート 2 6 と、管セットのシングルルーメン部分と連通する第二の弁密封型シングルルーメンアクセスポート 2 8 とを含む、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのシステム 1 0。

【選択図】 図 2



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのマルチルーメン管セットであって、

a) 加圧ガスラインを画定するデュアルルーメン部分と、前記患者の前記外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための戻りガスラインと、

b) 送気用ガスを前記患者の前記外科手術空洞に送達するためのガス供給および感知ラインを画定し、前記患者の前記外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するためのシングルルーメン部分と、を備えるマルチルーメン管セット。

【請求項 2】

前記デュアルルーメン部分の前記加圧ガスラインと連通する第一のフィルター付き流路と、前記デュアルルーメン部分の前記戻りガスラインと連通する第二のフィルター付き流路と、前記シングルルーメン部分の前記ガス供給および感知ラインと連通する第三のフィルター付き流路を含む、フィルターカートリッジ組立品をさらに備えた、請求項 1 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 3】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、同軸の流路を有するマニホールドコネクタを含む、請求項 1 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 4】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、平行な流路を有するマニホールドコネクタを含む、請求項 1 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 5】

前記管セットの前記シングルルーメン部分がルアータイプのコネクタを含む、請求項 1 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 6】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が結合された押出品である、請求項 1 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 7】

患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのマルチルーメン管セットであって、

a) マルチパスフィルターカートリッジ組立品と、

b) 前記フィルターカートリッジ組立品と連通し、前記患者の前記外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための加圧ガスラインおよび戻りガスラインを画定するデュアルルーメン部分と、

c) 前記フィルターカートリッジ組立品と連通し、送気用ガスを前記患者の前記外科手術空洞に送達するためのガス供給および感知ラインを画定し、前記患者の前記外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するためのガス供給および感知ラインを画定するシングルルーメン部分と、を備えるマルチルーメン管セット。

【請求項 8】

前記マルチパスフィルターカートリッジ組立品が、前記デュアルルーメン部分の前記加圧ガスラインと連通する第一のフィルター付き流路と、前記デュアルルーメン部分の前記戻りガスラインと連通する第二のフィルター付き流路と、前記シングルルーメン部分の前記ガス供給および感知ラインと連通する第三のフィルター付き流路を含む、請求項 7 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 9】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、同軸の流路を有するマニホールドコネクタを含む、請求項 7 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 10】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、平行な流路を有するマニホールドコネクタを含む、請求項 7 に記載のマルチルーメン管セット。

10

20

30

40

50

【請求項 1 1】

前記管セットの前記シングルルーメン部分がルアータイプのコネクターを含む、請求項 7 に記載のマルチルーメン管セット。

【請求項 1 2】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が結合された押出品である、請求項 7 に記載のマルチルーメン管セット。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】****[関連出願の相互参照]**

10

本出願は、2017年3月8日出願の米国仮特許出願第62/468,417号明細書、および2018年2月14日出願の米国特許出願番号第15/896,291号に対する優先権の利益を主張するものであり、この開示は参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。

【0002】

本発明は、内視鏡外科手術を対象とし、より具体的には、シングルルーメンガス密封アクセスポートと接続されたマルチルーメン管セットと、内視鏡外科処置または腹腔鏡外科処置の間に使用するためのシングルルーメン弁密封型アクセスポートとを備えた外科手術ガス循環システムを対象とする。

【背景技術】

20

【0003】

腹腔鏡外科手術または「低侵襲」外科手術は、胆嚢摘除、虫垂切除、ヘルニア修復および腎摘出などの処置の実施において日常事になりつつある。このような処置の利点には、患者への外傷の減少、感染の機会の低減、および回復時間の短縮が含まれる。腹（腹膜）腔内でのこのような処置は、典型的には、トロカールまたはカニューレとして知られる装置を介して行われ、これは患者の腹腔内への腹腔鏡器具の導入を容易にする。

【0004】

さらに、このような処置には一般に、二酸化炭素などの加圧流体で腹腔を充填する、または腹腔に「送気」して、手術空間を作り出すことが関与し、これは気腹と呼ばれる。送気は、送気用流体を送達するために装備されたトロカールなどの外科手術アクセス装置によって、または送気用（ヴェレス）針などの別個の送気用装置によって、実施されうる。気腹を維持するために、送気用ガスの実質的な損失なく、外科手術器具が気腹内に導入されることが望ましい。

30

【0005】

典型的な腹腔鏡手術の間、外科医は、腹部に3、4カ所、通常それぞれ約12ミリメートルを超えない小さな切開を行い、これは典型的には外科手術アクセス装置自体によって、多くの場合、別個のインサータまたはその中に置かれたオブチュレータを使用してなされる。挿入後、オブチュレータは除去され、トロカールにより、腹腔内に挿入される器具のアクセスが可能になる。典型的なトロカールは、外科医が作業をする開かれた内部空間を確保できるように、腹腔に送気する経路を提供する。

40

【0006】

また、トロカールは、トロカールと使用されている外科手術器具の間の密封によって空洞内の圧力を維持する方法を提供しつつも、外科手術器具のために少なくとも最小量の移動の自由度を許容する必要がある。このような器具には、例えば、剪刀、把持器具、閉塞器具、焼灼装置、カメラ、光源およびその他の外科手術器具が含まれうる。密封要素または密封メカニズムは通常、腹腔から送気用ガスが漏れるのを防ぐために、トロカール上に提供される。これらの密封メカニズムは、トロカールを通過する外科手術器具の外部表面の周りを密封するために、比較的成形しやすい材料で作製されたダックビル型弁を備えることがよくある。

【0007】

50

ConMed Corporationの完全所有子会社であるSurgiQuest, Inc. は、例えば、米国特許第7,854,724号に記載されるように、従来の機械的弁シールを必要とせずに、送気された外科手術空洞への簡単なアクセスを許容する、ユニークなガス密封外科手術アクセス装置を開発した。これらの装置は、内側管状体部分および同軸の外側管状体部分を含むいくつかのネストされた構成要素から構成される。内側管状体部分は、患者の腹腔に従来の腹腔鏡外科手術器具を導入するための中央ルーメンを画定し、外側管状体部分は、患者の腹腔に送気用ガスを送達し、腹腔内圧の定期的な感知を促進するための内側管状体部分を囲む環状ルーメンを画定する。

【0008】

前に開発されたこれらのデュアルルーメンガス密封アクセス装置は、従来のシングルルーメン弁密封型アクセス装置よりも、著しい利益および改善を提供しつつも、腹腔鏡外科処置の実施においてある一定の不利益もある。特に、前に開発されたこれらのデュアルルーメンガス密封アクセス装置は、2つの同軸の管状体部分で構成されているため、アクセス装置の管状体の有効外径は、従来のシングルルーメン弁密封型アクセス装置の管状体の有効外径よりもかなり大きい。

【0009】

例えば、デュアルルーメンガス密封アクセス装置の外径は、従来のシングルルーメン弁密封型アクセス装置の外径より少なくとも2.0mm大きくてもよい。結果として、デュアルルーメンアクセス装置を腹腔内に導入するために必要な切開の長さは、従来のシングルルーメン弁密封型アクセス装置を導入するために作られた典型的な切開よりも大きくなる。このより大きな切開は、患者の外傷の程度を増大しかねず、患者にとってより大きく目につく瘢痕、より大きな痛みや鎮痛剤、外科医にとってより困難な創傷閉鎖の原因となる。

【0010】

よって、前に開発されたデュアルルーメンガス密封アクセス装置（米国特許第7,854,724号に開示されるものなど）に関連した不利益を克服しつつ、従来のシングルルーメン弁密封型アクセス装置と比較して実質的な利益を維持する、ガス密封外科手術アクセス装置を提供できれば有益である。本発明は、こうした新規のアクセス装置および内視鏡外科手術で使用するための装置用にフィルター付き管セットを提供するが、これは以下で詳細に記述されている。

【発明の概要】

【0011】

本発明は、患者の外科手術空洞内での内視鏡外科処置または腹腔鏡外科処置を実施するための新しい有用なシステムを対象とする。システムは、デュアルルーメン部分およびシングルルーメン部分を含むマルチルーメン管セットを含む。管セットのデュアルルーメン部分は、加圧ガスラインおよび戻りガスラインを有し、これらは共に、患者の外科手術空洞に対するガス再循環を促進する。管セットのシングルルーメン部分は、患者の外科手術空洞に送気用ガスを送達するための、また患者の外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するための、ガス供給および感知ラインを有する。管セットは、マルチパスフィルターカートリッジ組立品と動作可能に関連付けられることが好ましい。

【0012】

システムはさらに、近位ハウジング部分を有する第一のアクセスポートと、近位ハウジング部分から遠位に延び、かつ中央カニューレまたは穴を画定する、細長い管状体部分とを含む。第一のアクセスポートの近位ハウジング部分は、管セットの加圧ガスラインと連通するための入口経路と、管セットの戻りガスラインと連通するための出口経路とを有する。近位ハウジング部分は、入口経路から加圧ガスを受けるため、かつ本体部分の中央カニューレ内のガス密封ゾーンを生成するための環状ジェット組立品を収容し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する。

【0013】

システムはまた、近位ハウジング部分と、近位ハウジング部分から延びる管状体部分と

10

20

30

40

50

を有する第二のアクセスポートを含む。第二のアクセスポートの近位ハウジング部分は、管状体部分を密封するための機械的な弁と、管セットのガス供給および感知ラインと連通するための入口経路とを収容する。

【 0 0 1 4 】

第一のアクセスポートは、第二のアクセスポートと併せて、患者の外科手術空洞からの煙排出を実施するよう適合され構成されることが好ましい。本発明の一実施形態では、第一のアクセスポートは、空気の混入、緊急時の空洞圧力放出、および外科処置中の中央カニューレへの器具のアクセスを可能にするように適合され構成される。本発明の一実施形態において、第一のアクセスポートは、空気の混入、緊急時の空洞圧力放出を可能にするが、中央カニューレへの、および/またはそれを通した器具のアクセスを許容しないように適合され構成される。これに関して、カニューレの中央の穴は、それを通した器具のアクセスを防止するように、形状、寸法、ルーバー、または別の方法で構成されうる。

10

【 0 0 1 5 】

別の実施形態において、第一のアクセスポートは、その管状体部分と選択的に結合されるよう適合された近位ハウジング部分を含み、また管状体部分は、ロボット外科手術システム（例えば、Intuitive Surgical, Inc. 製の Da Vinci ロボットシステム）によって操作されるように構成されている。例えば、近位ハウジング部分は、正反対に位置する一対の片持ちまたはバネ式のロックタブまたはこれに類するものによって、管状体部分に選択的に連結されうる。ロックタブは、近位ハウジング部分または管状体部分上に提供されうる。管状体部分は、ロボットマニピュレータが外科処置中に腹部ポートを把持し移動できるようにするための把持フランジを含む。

20

【 0 0 1 6 】

別の方法として、この実施形態において、第一のアクセスポートは、その管状体部分と選択的に結合されるように適合される近位ハウジング部分を含み、管状体部分は専有設計であるか、または管状体部分は非専有設計である。

【 0 0 1 7 】

本発明の好ましい実施形態によると、近位ハウジング部分は、アクセスポートのガス入口経路およびガス出口経路を画定するマニホールドを含む。入口経路および出口経路は、マニホールド内に同心円状に配置され、管セットのデュアルルーメン部分は、マニホールドと結合するための同軸コネクタを含むことが好ましい。別の方法として、入口経路と出口経路はマニホールド内で平行に配置され、管セットのデュアルルーメン部分はマニホールドと結合するための適切なコネクタを含む。比較すると、管セットのシングルルーメン部分は、第二のアクセスポートの入口経路と関連付けられた従来のルアータイプの取り付け具と結合するためのルアータイプのコネクタを含みうる。

30

【 0 0 1 8 】

システムはさらに、加圧ガスを管セットに送達するための出口を有するポンプと、管セットの戻りラインからフィルターカートリッジ組立品を通して減圧ガスを受ける入口とを含むガス再循環装置を含む。装置はまた、例えば、同一出願人による米国特許第 9, 3 7 5, 5 3 9 号に開示されている通り、送気用ガスをガス供給源から管セットのガス供給および感知ラインに送達するように構成される。本発明の好ましい実施形態によると、ガス再循環装置は、二分岐マルチルーメン管セットの存在を検出するように適合し構成され、かつ異なるタイプの管セットと区別できるソフトウェアを備えたプログラム可能コントローラを含みうる。

40

【 0 0 1 9 】

本発明はまた、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するための新規かつ有用な外科手術アクセスポートを対象とし、これは、近位ハウジング部分と、近位ハウジング部分から遠位に延び、中央カニューレまたは穴を画定する、細長い管状体部分とを含む。近位ハウジング部分は、管セットの加圧ガスラインと連通するための入口経路と、管セットの戻りガスラインと連通するための出口経路とを有する。近位ハウジング部分は、入口経路から加圧ガスを受けるため、かつ本体部分の中央カニューレ内のガス密封ゾーンを生

50

成するための環状ジェット組立品を収容し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する。

【 0 0 2 0 】

本発明はまた、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するための新規かつ有用なマルチルーメン管セットを対象とし、これは、マルチパスフィルターカートリッジ組立品と、フィルターカートリッジ組立品と連通し、患者の外科手術空洞に関するガス再循環を促進するための加圧ガスラインおよび戻りガスラインを有するデュアルルーメン部分と、フィルターカートリッジ組立品と連通し、患者の外科手術空洞に送気用ガスを送達するため、かつ患者の外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するためのガス供給および感知ラインを有するシングルルーメン部分とを含む。管セットのデュアルルーメン部分は、ユニークな同軸コネクターを含み、また管セットのシングルルーメン部分は、従来のルアータイプのコネクターを含みうることを好ましい。

10

【 0 0 2 1 】

本発明はまた、患者の外科手術空洞内の内視鏡外科処置を実施するために、分離可能二部品弁密封型外科手術アクセスポートを改良する新規の方法を対象とする。方法は、シングルルーメン管状体部分に取り外し可能なように係合された弁密封型近位ハウジング部分を有する分離可能二部品外科手術アクセスポートを取得する工程を含む。

【 0 0 2 2 】

方法はさらに、弁密封型近位ハウジング部分をシングルルーメン管状体部分から取り外してから、ガス密封近位ハウジング部分をシングルルーメン管状体部分に取り付ける工程を含み、ここで、管状体部分はロボット外科手術システムによって操作されるように構成されてもよい。方法はさらに、ガス密封近位ハウジング部分を加圧ガス供給源に接続して、シングルルーメン管状体部分の中央カニューレ内にガス密封ゾーンを生成し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する工程を含む。

20

【 0 0 2 3 】

本発明はまた、患者の外科手術空洞内の内視鏡外科処置を実施するために、分離可能二部品弁密封型外科手術アクセスポートの再利用可能な部分を改良する方法を対象とする。方法は、再利用可能なシングルルーメン管状体部分に取り外し可能なように係合された弁密封型近位ハウジング部分を通常有する、外科手術アクセスポートの再利用可能な部分を取得する工程を含む。

30

【 0 0 2 4 】

方法は、ガス密封近位ハウジング部分を再利用可能なシングルルーメン管状体部分に取り付ける工程をさらに含み、再利用可能な管状体部分は、ロボット外科手術システムによる操作のために構成されうる。方法はさらに、ガス密封近位ハウジング部分を加圧ガス供給源に接続して、再利用可能なシングルルーメン管状体部分の中央カニューレ内にガス密封ゾーンを生成し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する工程を含む。

【 0 0 2 5 】

本発明のガス循環システムおよびシングルルーメンガス密封アクセス装置のこれらの特徴およびその他の特徴は、本発明の好ましい実施形態の詳細な説明を図面の以下の簡単な説明と併せ読むことで当業者には容易に明らかになるであろう。

40

【図面の簡単な説明】

【 0 0 2 6 】

当業者が、本発明のガス循環システムおよびガス密封腹部アクセス装置を、過度の実験をすることなく作製して使用する方法を簡単に理解できるように、その好ましい実施形態を以下の図を参照しながら本明細書で詳細に説明する。

【 0 0 2 7 】

【図 1】図 1 は、腹腔鏡外科処置の実施中に使用されている本発明のガス循環システムの斜視図であり、ここでガス循環システムは、患者の腹腔内の安定した気腹を維持するように、かつ腹腔からの煙排出を促進するように構成された、シングルルーメンガス密封アクセスポートに結合するデュアルルーメン部分と、送気および腹腔内圧感知ために構成され

50

たシングルルーメン弁密封型アクセスポートに結合するシングルルーメン部分とを有する、フィルター付きマルチルーメン管セットを含む。

【図 2】図 2 は、図 1 に示すガス循環システムの斜視図であり、フィルターカートリッジ組立品と、シングルルーメンガス密封アクセスポートに結合するデュアルルーメン部分、およびシングルルーメン弁密封型アクセスポートに結合するシングルルーメン部分を有するフィルター付きマルチルーメン管セットとを含む。

【図 3】図 3 は、本発明のフィルター付きマルチルーメン管セットの斜視図であり、従来のルーアーコネクターは、管セットのシングルルーメン部分と関連付けられ、同心流路を有するデュアルルーメンコネクターは、管セットのデュアルルーメン部分と関連付けられている。

10

【図 3 A】図 3 A は、本発明の別のマルチルーメン管セットの斜視図であり、デュアルルーメン部分は二分岐であり、それぞれの管は別個のコネクターを持つ。

【図 4】図 4 は、図 3 に示したフィルターカートリッジ組立品上の管取り付け具の局所的拡大斜視図であり、図示を容易にするために部品が分離されている。

【図 5】図 5 は、本発明の好ましい実施形態に従って構成されたシングルルーメンガス密封アクセスポートの斜視図である。

【図 5 A】図 5 A は、図 5 の実施形態と類似したシングルルーメンガス密封アクセスポートのハウジング部分の斜視図であるが、マニホールドの入口経路および出口経路の配置が異なる。

【図 6】図 6 は、図 5 に示したシングルルーメンガス密封アクセスポートを分解斜視図で示し、図示を容易にするために部品が分離されている。

20

【図 7】図 7 は、図 6 に示した環状ジェット組立品の斜視図であり、図示を容易にするために部品が分離されている。

【図 8】図 8 は、図 5 の線 8 - 8 に沿って切り取られたシングルルーメンガス密封アクセスポートの断面図であり、図 7 に示す環状ジェット組立品を収容する近位ハウジング部分の内部を図示したもので、これはカニューレの中央の穴内にガス密封ゾーンを形成し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する。

【図 9】図 9 は、外径 D_2 を有する図 5 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの遠位端部分の局所的拡大図である。

【図 10】図 10 は、外径 D_1 を有する先行技術のデュアルルーメンガス密封アクセスポートの遠位端部分の局所的拡大図である。

30

【図 11】図 11 は、カニューレの中央の穴への器具のアクセスを許容することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成されたスロット付きまたはルーバー付き端キャップを持つ本発明の好ましい実施形態に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの斜視図である。

【図 12】図 12 は、図 11 に示したシングルルーメンガス密封トロカールの上面図である。

【図 13】図 13 は、非線形管状体部分を持つ、図 11 に記載のシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態の斜視図である。

【図 14】図 14 は、カニューレの中央の穴を通して器具のアクセスを許容することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成された本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態の斜視図であり、ここでトロカールはカニューレを通した外科手術空洞への手術器具の通過を防止するための閉じたオブチュレータ先端を含む。

40

【図 15】図 15 は、図 14 のガス密封トロカールの分解斜視図であり、図示を容易にするために部品が分離されている。

【図 16】図 16 および 17 は、本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態の斜視図であり、ここでトロカールは、それを通して器具が通過するのを防止するために寸法設定された中央カニューレまたは穴を有する管状体部分を含み、これはオブチュレータへのアクセスを許容する。

50

【図 17】図 16 および 17 は、本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態の斜視図であり、ここでトロカールは、それを通して器具が通過するのを防止するために寸法設定された中央カニューレまたは穴を有する管状体部分を含み、これはオブチュレータへのアクセスを許容する。

【図 18】図 18 は、本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態の側面図であり、ここで、トロカールは、それを通して器具が通過するのを防止する形状の楕円形断面を持つ管状体部分を備え、これはオブチュレータへのアクセスを許容し、また保持目的のために接着パッドを含む。

【図 19】図 19 は、オブチュレータの導入中の、図 18 に示したシングルルーメンガス密封トロカールの斜視図である。

10

【図 20】図 20 は、図 19 の線 20 - 20 に沿って切り取ったトロカールの本体部分の断面図である。

【図 21】図 21 ~ 24 は、カニューレの中央の穴に装置のアクセスを許可することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成された本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールのさらに別の実施形態を図示したものであり、ここでトロカールは、オブチュレータが装置から取り外された時、閉じてロックされた位置に移動するように取り付けられた、機械的に作動するスロット付きまたはルーバー付き端キャップを含む。

【図 22】図 21 ~ 24 は、カニューレの中央の穴に装置のアクセスを許可することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成された本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールのさらに別の実施形態を図示したものであり、ここでトロカールは、オブチュレータが装置から取り外された時、閉じてロックされた位置に移動するように取り付けられた、機械的に作動するスロット付きまたはルーバー付き端キャップを含む。

20

【図 23】図 21 ~ 24 は、カニューレの中央の穴に装置のアクセスを許可することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成された本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールのさらに別の実施形態を図示したものであり、ここでトロカールは、オブチュレータが装置から取り外された時、閉じてロックされた位置に移動するように取り付けられた、機械的に作動するスロット付きまたはルーバー付き端キャップを含む。

30

【図 24】図 21 ~ 24 は、カニューレの中央の穴に装置のアクセスを許可することなく、空気の混入および緊急時の圧力放出のために構成された本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールのさらに別の実施形態を図示したものであり、ここでトロカールは、オブチュレータが装置から取り外された時、閉じてロックされた位置に移動するように取り付けられた、機械的に作動するスロット付きまたはルーバー付き端キャップを含む。

【図 25】図 25 は、本発明に従い構成されたガス循環システムの斜視図であり、ロボット支援外科処置中に使用するように適合し構成されており、これは、フィルター付きマルチルーメン管セットと、着脱可能なハウジング部分を有する二部品シングルルーメンガス密封アクセスポートと、着脱可能なハウジング部分を有する二部品シングルルーメン弁密封型アクセスポートを含む。

40

【図 26】図 26 は、ロボット操作のために構成された再利用可能な遠位カニューレ部分と、ガス密封、ガス再循環および煙排出のために構成された着脱可能なハウジング部分とを含む、図 25 に示されるシングルルーメンガス密封アクセスポートの斜視図である。

【図 27】図 27 は、図 26 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの分解斜視図であり、図示を容易にするために、ハウジング部分は、再利用可能なカニューレまたは管状体部分から分離されている。

【図 27A】図 27A は、図 26 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの代替的なバージョンの分解斜視図であり、マニホールドは同心コネクターとは対照的な平行なコネクターを含む。

50

【図 28】図 28 は、図 26 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの分離可能ハウジング部分の側面図である。

【図 29】図 29 は、図 26 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの分離可能ハウジング部分の分解斜視図であり、図示を容易にするために、その構成要素部品が分離されている。

【図 30】図 30 は、図 28 の線 30 - 30 に沿って切り取られたシングルルーメンガス密封アクセスポートの分離可能ハウジング部分の断面図である。

【図 31】図 31 は、本発明に従い構成されたガス循環システムの斜視図であり、内視鏡外科処置中または腹腔鏡外科処置中に使用するように適合し構成されており、これは、フィルター付きマルチルーメン管セットと、着脱可能なハウジング部分を有するシングルルーメンガス密封アクセスポートと、着脱可能なハウジング部分を有するシングルルーメン弁密封型アクセスポートを含む。

【図 32】図 32 は、遠位カニューレ部分と、ガス密封、ガス再循環および煙排出のために構成された着脱可能なハウジング部分とを含む、図 31 に示したシングルルーメンガス密封アクセスポートの斜視図である。

【図 33】図 33 は、図 32 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの分解斜視図であり、図示しやすくハウジング部分が管状体部分から分離されている。

【図 34】図 34 は、図 32 のシングルルーメンガス密封アクセスポートの分離可能ハウジング部分の分解斜視図であり、図示を容易にするために、その構成要素部品が分離されている。

【図 35】図 35 ~ 38 は、分離可能二部品弁密封型アクセスポートを改造して患者の外科手術空洞における内視鏡外科処置を実施するための方法ステップを図示したものである。図 35 は、シングルルーメン管状体部分に分離可能なように係合された弁密封型近位ハウジング部分を持つ分離可能な二部品アクセスポートを示す。

【図 36】図 36 は、アクセスポートのシングルルーメン管状体部分から弁密封型近位ハウジング部分を分離する工程を示す。

【図 37】図 37 は、ガス密封近位ハウジング部分を前記アクセスポートの前記シングルルーメン管状体部分に取り付ける工程を示す。

【図 38】図 38 は、図 32 に示す通り、完全に組み立てられたシングルルーメンガス密封アクセスポートを示す。

【発明を実施するための形態】

【0028】

ここで図面を参照する。その際、同様の参照番号は本発明の類似の構造要素および特徴を識別する。図 1 には、患者の外科手術空洞において内視鏡外科処置を実施するための、より具体的には、患者の腹腔内において腹腔鏡外科処置を実施するための、ガス循環システムが図示されており、これは、本開示の好ましい実施形態に従って構成され、全体を参照番号 10 で示す。

【0029】

ガス循環システム 10 は、プログラム可能マルチモーダルガス送達システム 12 と連携するように特別に設計されている。ガス送達システム 12 は、同一出願人による米国特許第 9,375,539 号に記載されるタイプのシステムであり、その開示は参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。ガス送達システム 12 は、動作パラメータを設定するためのグラフィカルユーザーインターフェース 14、および患者の外科手術空洞に関して加圧ガスの再循環を促進するためのポンプ 16 を含む。ガス送達システム 12 は、患者の外科手術空洞に送気用ガスを送達するための外科手術ガス 18 の供給源に接続される。

【0030】

手短には、ガス循環システム 10 は、デュアルルーメン部分 22 およびシングルルーメン部分 24 を含むフィルター付きマルチルーメン管セット 20 と、管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 に動作可能に接続された第一のガス密封シングルルーメンアクセスポート 26 と、管セット 20 のシングルルーメン部分 24 に動作可能に接続された第二の弁

10

20

30

40

50

密封型シングルルーメンアクセスポート 28 とを含む。ガス循環システム 10 のこれらの構成要素のそれぞれ、およびそれらの変形については、以下でより詳細に説明する。

【0031】

マルチルーメン管セット

図 2 ~ 4 を参照すると、本発明のガス循環システム 10 は、デュアルルーメン部分 22 およびシングルルーメン部分 24 を含む、全体が参照番号 20 で示されるフィルター付きマルチルーメン管セットを含む。デュアルルーメン部分 22 は、患者の外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための加圧ガスライン 30 および戻りガスライン 32 を有する。シングルルーメン部分 24 は、患者の外科手術空洞に送気用ガスを送達するための、また患者の外科手術空洞内の圧力を定期的に感知するための、ガス供給および感知ライン 34 を有する。

10

【0032】

管セット 20 は、マルチパスフィルターカートリッジ組立品 36 と動作可能に関連付けられる。より具体的には、管セット 20 のガスラインは、フィルターカートリッジ組立品 36 の端キャップ 40 の取り付け具 38 から延びる。このタイプのフィルターカートリッジ組立品は、例えば、同一出願人による米国特許第 9,067,030 号に開示されており、その開示は参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。フィルターカートリッジ組立品 36 は、単回使用のために設計されることが好ましく、したがって使い捨てである。図 1 に図示され、同一出願人による米国特許第 9,375,539 号に記述されているマルチモーダルガス送達システム 12 と連携するように特に設計されている。

20

【0033】

本明細書には図示しないが、フィルターカートリッジ組立品 36 は、管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 の加圧ガスライン 30 と連通する第一のフィルター付き流路と、管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 の戻りガスライン 32 と連通する第二のフィルター付き流路と、管セット 20 のシングルルーメン部分 24 のガス供給および感知ライン 34 と連通する第三のフィルター付き流路を含む。

【0034】

図 2、3 および 3A に示すように、管セット 20 のシングルルーメン部分 24 は、弁密封型アクセスポート 28 上のルアー接続 25 に接続するための標準的なルアータイプコネクター 44 を含む。管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 は、ガス密封アクセス部分 26 上のデュアルルーメンマニホールドコネクター 60 と嵌合するための同軸の流路を有するデュアルルーメンマニホールドコネクター 42 を含む。本発明の好ましい実施形態において、管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 は、図 4 で最もよく分かるように、結合された押出品として少なくとも部分的に形成される。別の方法として、図 3A に示すように、管セット 20 のデュアルルーメン部分 22 は、2 つの別個のガスライン 30 および 32 に遠位で分岐されてもよく、例えば図 14 に示すように、それぞれ対応して構成されたアクセスポートマニホールドと嵌合するためのコネクターを有する。

30

【0035】

シングルルーメンガス密封アクセスポート

図 1 および図 2 を図 5 ~ 9 と併せて参照し続けると、循環システム 10 は、内視鏡外科処置中に患者の外科手術空洞へのガス密封アクセスを提供するよう適合され構成されたガス密封シングルルーメンアクセスポート 26 を含む。これに関して、アクセスポート 26 は、例えば、同一出願人による米国特許第 7,854,724 号（その全体が参照により本明細書に組み込まれる）に開示されているデュアルルーメントロカール組立品と類似して機能する。しかしながら、アクセスポート 26 は、一つの中央ルーメンのみが存在するという点で、米国特許第 7,854,724 号に開示されているトロカール組立品とは有意に異なる。

40

【0036】

本発明のアクセスポート 26 は、例えば、先行技術の図 10 に示されるように、中央ルーメンを囲む第二の環状ルーメンを持たない。したがって、アクセスポート 26 は、患者

50

の外科手術空洞に送気用ガスを送達することも、空洞圧力を感知することもできない。むしろ、アクセスポート２６は、外科手術空洞からの煙排出および安定した空洞圧力の維持を促進しつつ、ガス密封された器具アクセスを提供するように構成されている。アクセスポート２６は、図５～９に関して以下でより詳細に説明される。

【００３７】

ここで図５～９を参照すると、本発明のシングルルーメンガス密封アクセスポート２６により詳細に図示されており、これは、近位ハウジング部分５０と、近位ハウジング部分５０から遠位に延び、かつ中央カニューレ５４を画定する細長い管状体部分５２を含む。アクセスポート２６の近位ハウジング部分５０は、管セット２０の加圧ガスライン３０と連通するための入口経路５６と、管セット２０の戻りガスライン３２と連通するための出口経路５８とを有する。

10

【００３８】

より具体的には、図５および８で最もよく分かるように、アクセスポート２６内のガス流を管理するために、近位ハウジング部分５０は、マニホールド６０内に同心に配置される入口経路５６および出口経路５８を画定するマニホールド６０を含む。管セット２０のデュアルルーメン部分２２は、図２で最もよく分かるように、近位ハウジング部分５０のマニホールド６０と結合するための同軸コネクタ４２を含む。このタイプのデュアルルーメンが連結された接続が、例えば、同一出願人による米国特許出願公開第２０１７／０３６１０８４号の図２１に開示されており、その開示は参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。別の方法として、シングルルーメンガス密封アクセスポート２６は、図５Ａに示すように、２つの独立した平行なコネクタ５６および５８を有するマニホールド６０を有してもよい。

20

【００３９】

図６および８を参照すると、アクセスポート２６の近位ハウジング部分５０は、図７で最もよく分かるように、二部品環状ジェット組立品６４を収容するための内部チャンバー６２を画定する。端キャップ７６は、内部チャンバー６２を覆い、中央カニューレ５４の入口経路を画定する。環状ジェット組立品６４は、入口経路５６から加圧ガスを受け、管状体部分５２の中央カニューレ５４内にガスまたは空気密封ゾーンを生成して、患者の外科手術空洞内の安定した圧力を維持するように適合され構成されている。

【００４０】

30

図７を参照すると、環状ジェット組立品６４は、ノズルチューブ６８を有する上部ジェットリング６６と、ノズルチューブ６８を受けるためのノズルシート７２を画定する下部ジェットリング７０とを含む。上部ジェットリング６６および下部ジェットリング７０はそれぞれ、Ｏリング７５を有し、複数の嵌合ラグ７４によってまとめて結合される。環状ジェット組立品６４は、同一出願人による米国特許第８，７９５，２２３号および米国特許出願公開第２０１５／００２５３２３号において非常に詳細に開示されており、その開示は参照によりその全体が本明細書に組み込まれる。

【００４１】

例えば、米国特許第８，７９５，２２３号に開示されているガス密封アクセスポートを利用するシステムと比較して、本発明のガス循環システム１０を採用するいくつかの利点がある。特に、内側カニューレおよび外側カニューレの両方の必要性を除去することによって、アクセスポート２６に関して、送気および感知のための別個の従来のカニューレの使用のために、アクセスポート２６の管状体の有効外径が著しく低減する。

40

【００４２】

図９および１０は、この比較を図示したものであり、図１０は、米国特許第８，７９５，２２３号の開示に従って構成された５mmのデュアルルーメンガス密封アクセス装置の管状体部分５５および中央の穴５７を示し、有効外径 D_1 は約１１．０５mmであり、図９は、本発明のシングルルーメンガス密封アクセス装置２６の５mmバージョンを示し、管状体部分５２の有効外径 D_2 は例えば約８．９７mmである。本体部分５２、５５のそれぞれの中央の穴５４、５７は、同じ内径を持つことが理解されるべきである。

50

【 0 0 4 3 】

本発明のシングルルーメンガス密封アクセスポート 2 6 の有効外径におけるこの有意な差異は、患者の切開がより小さな外科手術を可能にしつつ、類似の機能性（すなわち、器具のためのガス密封、安定した気腹および煙排出）を維持する。切開サイズが小さくなると、患者にとって瘢痕が小さくなるか見えなくなり、痛みが少なくなるか鎮痛剤が少なくなり、外科医にとって創傷閉鎖がより簡単なものとなる可能性がある。さらに、本発明のシングルルーメンガス密封アクセスポート 2 6 は、例えば、米国特許第 8, 7 9 5, 2 2 3 号に開示されたガス密封アクセスポートよりも、より少ないプラスチックを使用し、かつ少ない構成要素を有するとともに、シングルルーメン設計はいくつかの嵌合の特徴を除去する。これにより、構成要素および組立品のコストが低減され、より効率的な製品認定が可能となり得る。

10

【 0 0 4 4 】

当業者であれば、アクセスポート 2 6 の管状体部分 5 2 が、インサータまたはオブチュレータを使用して腹壁を貫いて患者の腹腔内に導入され得ることを容易に理解するであろう。これに関して、図 5 および 8 で最もよく分かるように、近位ハウジング 5 0 上の端キャップ 7 6 は、同一出願人による米国特許第 9, 5 4 5, 2 6 4 号に記述および図示されたタイプのオブチュレータまたはイントロデューサと連携するよう設計された正反対にあるフランジ 7 8 a および 7 8 b を含み、その全体が参照により本明細書に組み込まれる。この目的のために、他のオブチュレータまたはイントロデューサも利用できる。

【 0 0 4 5 】

20

器具の通路をもたないシングルルーメンガス密封トロカール

図 1 1 ~ 2 4 を参照すると、上述のシングルルーメンガス密封アクセスポート 2 6 は、外科手術器具がそれを通過するためのガス密封、安定した空洞圧力および外科手術空洞の煙排出を実施するように適合され、かつ構成され、空気の混入および緊急時の空洞圧力放出を許容するように構築されている一方で、本発明の実施形態は、必ずしも外科手術空洞への器具のアクセスを提供しなければならないわけではなく、むしろ器具の通路をもたないシングルルーメンガス密封トロカールとして構成されうることも想定されており、十分に本開示の範囲内である。

【 0 0 4 6 】

例えば、図 1 1 および 1 2 には、安定した空洞圧力を維持し、および外科手術空洞の煙排出を実施するだけでなく、同心デュアルルーメンマニホールド 1 6 0 によって空気の混入および緊急時の圧力放出が許容されるように適合され構成されているが、本体部分 1 5 2 の中央カニユーレ穴 1 5 4 内への、およびそれを通した器具のアクセスは許容しない、ガス密封トロカール 1 2 6 が図示されている。これに関して、ガス密封トロカール 1 2 6 の中央の穴 1 5 4 は、トロカール 1 2 6 の中央の穴 1 5 4 への、およびそれを通した器具のアクセスを物理的に阻止またはその他の方法で遮断する、間隔を置いたスロット 1 8 0 のセットを含むハウジング部分 1 5 0 上のルーバー付き端キャップ 1 7 6 によって覆われる。

30

【 0 0 4 7 】

外科手術器具はこのガス密封トロカール 1 2 6 に挿入されないため、下記に詳細に説明する、例えば図 1 6 ~ 1 7 に示すように、ガス密封機能を犠牲にすることなく、内径（よって、装置の外径）を著しく小さくすることができる。これにより、本発明のポートのサイズに基づく潜在的な利点をさらに増加させうる。このタイプのガス密封トロカールは、多くの代替的な実施形態を有しうる。例えば、図 1 8 ~ 2 0 に示し、後述するように、導管は円筒形の外科手術器具の周りでのガス密封を提供するために円筒形である必要はないため、トロカール装置はより薄いおよび / またはより平坦なチャネルまたは長楕円形チャネルを含むことができる。この設計は、この実施形態の楕円形または長楕円形の幾何学的形状が外科医によって作られた線形の皮膚切開とより厳密に整列するため、臨床上の利点を可能にしうる。よって、より簡単に挿入がなされうると共に、切開を取り囲む組織への外傷がより少なくなりうる。

40

50

【 0 0 4 8 】

トロカール装置はまた、直線または長軸方向の経路を含む必要がない。例えば、図 1 3 に示すように、ルーバー付き端キャップ 1 7 6 およびバイルーメンマニホールド 2 6 0 を備えた近位ハウジング部分 2 5 0 を有するガス密封トロカール 2 2 6 は、その軸から 9 0 度曲げるように構成された非直線本体部分 2 5 2 を含む。この構造により、腹腔鏡外科処置中の患者の腹壁への固着や、強化型またはユーザー主導型の煙排出の範囲および対象範囲の提供や、腹腔内および腹腔外の両方の作業空間にある散乱物の除去など、多数の改善が可能となる。

【 0 0 4 9 】

ここで図 1 4 ~ 1 5 を参照するが、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのガス密封トロカール 3 2 6 が図示されており、これは、近位ハウジング部分 3 5 0 と、近位ハウジング部分 3 5 0 から遠位に延び、かつ中央カニューレ 3 5 4 を画定する細長いシングルルーメン管状体部分 3 5 2 を含む。近位ハウジング部分 3 5 0 は、管セット 2 0 の加圧ガスライン 3 0 と連通するための入口経路 3 5 6 と、管セット 2 0 の戻りガスライン 3 2 と連通するための出口経路 3 5 8 とを有する。近位ハウジング部分 3 5 0 は、入口経路および出口経路を画定するマニホールド 3 6 0 を含み、入口経路と出口経路は、マニホールド 3 6 0 内で並列に配置される。別の方法として、経路 3 5 6 および 3 5 8 は、別個のマニホールドを必要とせずに、近位ハウジング部分 3 5 0 と一体型の方法で形成されう。

【 0 0 5 0 】

近位ハウジング部分 3 5 0 は、入口経路 3 5 6 からの加圧ガスを受けるため、および管状体部分 3 5 2 の中央カニューレ 3 5 4 内に患者の外科手術空洞内での安定した圧力を維持するガス密封ゾーンを生成するための環状ジェット組立品 3 6 4 を収容し、ここで、近位ハウジング部分 3 5 0 は、空気の混入を許容するように適合され構成されるが、以下に説明するとおり、本体部分 3 5 2 は閉じ、中央カニューレ 3 5 4 を通した外科手術空洞へのアクセスが阻止されている。

【 0 0 5 1 】

近位ハウジング部分 3 5 0 は、入口経路 3 5 6 および出口経路 3 5 8 を画定するマニホールド 3 6 0 を含み、入口経路と出口経路は、マニホールド 3 6 0 内で並列に配置される。近位ハウジング部分 3 5 0 はまた、外科処置中の装置 3 2 6 の固定を容易にするために、縫合用固定タンク 3 9 4 を含む。近位ハウジング部分 3 5 0 は、空気の混入および緊急時の空洞圧力放出を可能にするために、円周方向に配置された半径方向スロット 3 7 7 付きの端キャップ 3 7 6 をさらに含む。端キャップ 3 7 6 はまた、管状体部分 3 5 2 の中央カニューレ 3 5 4 を閉じるためのプラグ 3 9 0 を受けるための中央開口部 3 7 8 で構成され、それによって必要に応じて空気の混入を阻止する。

【 0 0 5 2 】

管状体部分 3 5 2 の遠位端セクションは、装置の経皮的導入を容易にするための閉じた円錐状先端 3 5 5 を形成する。さらに、閉じた遠位先端 3 5 5 は、中央カニューレ 3 5 4 を通しての患者の体腔への外科手術器具の通過を阻止する。管状体部分 3 5 2 の遠位端セクションは、管状体部分 3 5 2 の中央カニューレ 3 5 4 と患者の外科手術空洞との間のガス / 流体連通を促進するための複数の開口部 3 9 2 を含む。

【 0 0 5 3 】

ここで図 1 6 および 1 7 を参照するが、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのガス密封トロカール 4 2 6 が図示されており、これは、近位ハウジング部分 4 5 0 と、近位ハウジング部分 4 5 0 から遠位に延び、かつ中央カニューレ 4 5 4 を画定する細長いシングルルーメン管状体部分 4 5 2 を含む。

【 0 0 5 4 】

近位ハウジング部分 4 5 0 は、空気の混入を可能にする端キャップ 4 7 6 と、入口経路 4 5 6 および出口経路 4 5 8 を画定するデュアルルーメンマニホールド 4 6 0 とを含み、入口経路と出口経路は、図 1 4 に示したように平行にではなく、マニホールド 4 6 0 内で

同心に配置される。近位ハウジング部分 4 5 0 はさらに、縫合用固定タング 4 9 4 を含む。

【 0 0 5 5 】

この実施形態において、管状体部分 4 5 2 およびより具体的には、中央の穴またはカニューレ 4 5 4 は、それを通る外科手術器具の通過を阻止する寸法である。例えば、穴 4 5 4 は、腹腔鏡外科手術中に一般的に使用される標準的な 5 mm 内視鏡外科手術装置の導入を阻止する寸法としうる。したがって、穴 4 5 4 の内径「d」は 5 mm 未満である。しかしながら、こうした例では、オブチュレータまたはイントロデューサ 4 9 0 は、トロカール 4 2 6 の経皮的導入を促進するために中央の穴 4 5 4 を通過する寸法である。

【 0 0 5 6 】

ここで図 1 8 ~ 2 0 を参照するが、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するためのガス密封トロカール 5 2 6 が図示されており、これは、近位ハウジング部分 5 5 0 と、近位ハウジング部分 5 5 0 から遠位に延び、かつ中央カニューレ 5 5 4 を画定する細長いシングルルーメン管状体部分 5 5 2 を含む。近位ハウジング部分 5 5 0 は、マニホールド 5 6 0 を含み、入口および出口の経路は並列に配置される。

【 0 0 5 7 】

図 2 0 で最もよく分かるように、管状体部分 5 5 2 は、非円形の断面形状を有する。より具体的には、図 2 0 に示すように、管状体部分 5 5 2 は、楕円形の断面形状を有する。また、接着パッド 5 9 8 は、外科処置中にトロカール 5 0 0 を定位置に保持するために、管状体部分 5 5 2 と動作可能に関連付けられる。

【 0 0 5 8 】

ここで図 2 1 ~ 2 4 を参照するが、本発明に従って構成されたシングルルーメンガス密封トロカールの別の実施形態が図示されており、これはその全体が参照番号 6 2 6 で示されている。ガス密封トロカール 6 2 6 は、近位ハウジング部分 6 5 0 と、近位ハウジング部分 6 5 0 から遠位に延び、中央カニューレ 6 5 4 を画定する細長いシングルルーメン管状体部分 6 5 2 とを含む。近位ハウジング部分 6 5 0 は、マニホールド 6 6 0 を含み、入口および出口の経路は並列に配置される。

【 0 0 5 9 】

近位ハウジング部分 6 5 0 はさらに、オブチュレータ 6 9 0 がトロカール 6 0 0 から除去されると、中央カニューレ 6 5 4 へのアクセスを阻止するために、図 2 1 ~ 2 3 に示す開位置から図 2 4 に示す閉位置まで移動する、ヒンジ付端キャップ 6 7 6 を含む。より具体的には、近位ハウジング部分 6 5 0 およびヒンジ付端キャップ 6 7 6 は、端キャップ 6 7 6 を通常閉位置に偏向させる付勢バンド 6 7 5 によって互いに動作可能に接続される。

【 0 0 6 0 】

端キャップ 6 7 6 は、管状体部分 6 5 2 の中央カニューレ 6 5 4 への器具のアクセスを許容することなく、中央カニューレ 6 5 4 への空気の混入、および緊急時の空洞圧力放出を可能にするルーバーまたは間隔を置いたスロット 6 4 8 を有する。さらに、ヒンジ付端キャップ 6 7 6 を保持するための近位ハウジング部分 6 5 0 上にロック機構 6 8 5 が提供されており、図 2 4 で最もよく分かるように閉位置である。より具体的には、ロック機構 6 8 5 は、端キャップ 6 7 6 のフランジ 6 7 7 を捕捉・保持するための一対のロックタブ 6 8 5 a および 6 8 5 b を含む。

【 0 0 6 1 】

ロボット外科手術用の分離可能な二部品シングルルーメンガス密封アクセスポート

図 2 5 ~ 3 0 を参照すると、全体が参照番号 7 1 0 によって示される本発明のガス循環システムの別の実施形態が図示されており、これはロボット支援の低侵襲外科処置で使用するよう構成されている。より具体的には、ガス循環システム 7 1 0 は、Intuitive Surgical, Inc. によって製造・販売される Da Vinci Xi タイプのロボットシステムと併せて使用するよう適合される。

【 0 0 6 2 】

図 2 5 を参照すると、ガス循環システム 7 1 0 は、デュアルルーメン部分 2 2、シング

10

20

30

40

50

ルルーメン部分 2 4 およびマルチパスフィルターカートリッジ組立品 3 6 を有するマルチルーメン管セット 2 0 を含む。デュアルルーメン部分 2 2 は、全体が参照番号 7 2 6 で示される分離可能な二部品シングルルーメンガス密封アクセスポートと連通するように適合され構成される。シングルルーメン部分 2 4 は、全体が参照番号 7 2 8 で示される分離可能な二部品シングルルーメン弁密封型アクセスポートと連通するように適合され構成される。

【 0 0 6 3 】

図 2 6 を参照すると、ガス密封アクセスポート 7 2 6 は、ロボット外科手術で使用するために特に構成される。下記により詳細に説明するように、別個の管状体部分 7 5 2 と選択的に結合されるように適合された近位ハウジング部分 7 5 0 が含まれる。管状体部分 7 5 2 は、ロボット外科手術システムによる操作のために構成される。より具体的には、管状体部分 7 5 2 の近位受容部分 7 5 5 は、低侵襲外科手術中に、Da Vinci Xi タイプのロボット操作装置（図示せず）が腹部ポート 7 5 0 を把持して移動することができるようにするための半径方向外側に延びる把持フランジ 7 5 7 を含む。

【 0 0 6 4 】

図 2 7 ~ 3 0 を参照すると、ガス密封アクセスポート 7 2 6 の近位ハウジング部分 7 5 0 は、管状体部分 7 5 2 の上部受容部分 7 5 5 内に収容されるように寸法設定され、構成される下側ハウジング部分 7 5 1 を含む。リング 7 5 9 は、下側ハウジング部分 7 5 1 の外部に対してシールするために、上部受容部分 7 5 5 内に提供される。管状のステム 7 5 3 は、下側ハウジング部分 7 5 1 を通って延長し、かつ管状体部分 7 5 2 の管状の穴またはカニユーレ 7 5 4 と直接連通して、2 つの構造が使用のために一緒に取り付けられた時に連通する。

【 0 0 6 5 】

図 3 0 を参照すると、近位ハウジング部分 7 5 0 は、環状ジェット組立品 7 6 4 を収容するための内部チャンバーをさらに含む。環状ジェット組立品 7 6 4 は、入口経路 7 5 6 から加圧ガスを受け、管状のステム 7 5 3 内のガスまたは空気密封ゾーンを生成するように構成される。管状のステム 7 5 3 は、管状体部分 7 5 2 の中央カニユーレ穴 7 5 4 と空気連通しているため、装置は安定した空洞圧力を維持し、煙排出がなされう。

【 0 0 6 6 】

図 2 7 および 2 9 を参照すると、アクセスポート 7 2 6 の近位ハウジング部分 7 5 0 は、正反対にある一対のばね式ロックタブ 7 4 0 a および 7 4 0 b によって、選択的にまたはその他の方法で分離可能に管状体部分 7 5 2 に連結されるように構成される。図 2 8 で最もよく分かるように、分離可能ハウジング部分 7 5 0 は、同心経路 7 5 6 、 7 5 8 を通した圧力ラインおよび戻りラインの流れを管理するためのデュアルルーメンマニホールド 7 6 0 も含む。別の方法として、図 2 7 A に示すように、マニホールド 7 6 0 は、並列入口および出口経路 7 5 6 および 7 5 8 を含み得る。

【 0 0 6 7 】

内視鏡外科手術用の分離可能な二部品シングルルーメンガス密封アクセスポート

ここで図 3 1 ~ 3 4 を参照すると、内視鏡外科処置における使用のために適合および構成された、全体が参照番号 8 1 0 で示される本発明のガス循環システムの別の実施形態が図示されている。システム 8 1 0 は、デュアルルーメン部分 2 2 、シングルルーメン部分 2 4 、およびマルチパスフィルターカートリッジ組立品 3 6 を持つマルチルーメン管セット 2 0 を含む。

【 0 0 6 8 】

図 3 1 を参照すると、管セット 2 0 のデュアルルーメン部分 2 2 は、近位ハウジング部分 8 5 0 および分離可能な管状体部分 8 5 2 を含む全体が参照番号 8 2 6 で示された二部品シングルルーメンガス密封アクセスポートと連通するように適合され構成される。管セット 2 0 のシングルルーメン部分 2 4 は、近位ハウジング部分 8 2 3 および分離可能な管状体部分 8 2 5 を含む全体が参照番号 8 2 8 で示された二部品シングルルーメン弁密封型アクセスポートと連通するように適合され構成される。当業者であれば、管セット 2 0 の

シングルルーメン部分 24 が、本発明の精神または範囲から逸脱することなく、一体成形の弁密封型アクセスポートに接続できることを容易に理解するであろう。

【0069】

図 32 および 33 を参照すると、ガス密封アクセスポート 826 は、管状体部分 852 の上部受容部分 855 と選択的に結合されるように適合された近位ハウジング部分 850 を含む。より具体的には、アクセスポート 826 の近位ハウジング部分 850 は、上部受容部分 855 と動作可能に関連付けられた正反対にある一対のバネ式ロックタブ 840a および 840b によって、管状体部分 852 の上部受容部分 855 に選択的に結合されるように構成される。

【0070】

分離可能ハウジング部分 850 は、端キャップ 876 およびデュアルルーメンマニホールド 860 を含み、圧力ラインおよび戻りラインの流れを管理する。ハウジング部分 850 は、安定した空洞圧力を維持し、煙排出を提供するために、分離可能な管状体部分 852 の中央カニューレ穴内にガスまたは空気密封ゾーンを生成するように構成された環状ジェット組立品 864 を収容する内部チャンバーも持つ。

【0071】

シングルルーメン二部品ガス密封アクセスポートを配置する方法

図 35 ~ 38 を参照すると、本発明は、患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するために、分離可能二部品弁密封型外科手術アクセスポートを改良する新規の方法も対象とする。図 35 に示すように、方法は、シングルルーメン管状体部分 852 に分離可能に係合された弁密封型近位ハウジング部分 950 を有する分離可能二部品外科手術アクセスポート 926 を取得する工程を含む。近位ハウジング部分 950 は、機械的ダックビル弁 995 および従来のルアータイプの取り付け具 925 を含む。

【0072】

方法は、図 36 に示すように、弁密封型近位ハウジング部分 950 をシングルルーメン管状体部分 852 から取り外す工程と、その後、図 37 に示すように、マニホールド 860 を備えたガス密封近位ハウジング部分 850 をシングルルーメン管状体部分 852 に選択的に取り付ける工程とをさらに含む。次に、図 38 に示すように、方法はさらに、組み立てられたポート 826 のガス密封近位ハウジング部分 850 を、シングルルーメン管状体部分 852 の中央カニューレの中にガス密封ゾーンを生成するために加圧ガスの供給源に接続し、患者の外科手術空洞内に安定した圧力を維持する工程を含む。

【0073】

本発明のガス循環システム、マルチルーメン管セットおよびガス密封アクセスポートおよびトロカールについて好ましい実施形態を参照して説明してきたが、当業者は、本開示の範囲から逸脱することなく、変更および/または修正を行うことができることを容易に理解するであろう。

10

20

30

【図 1】

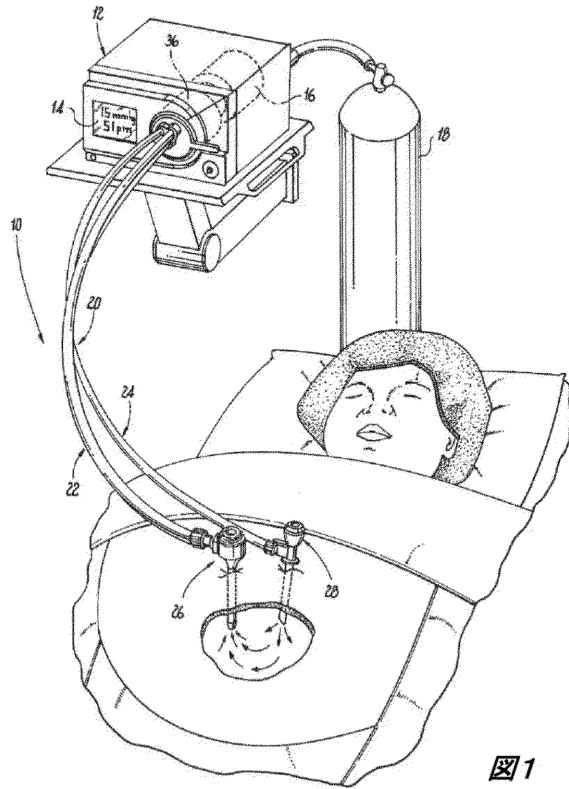


図1

【図 2】

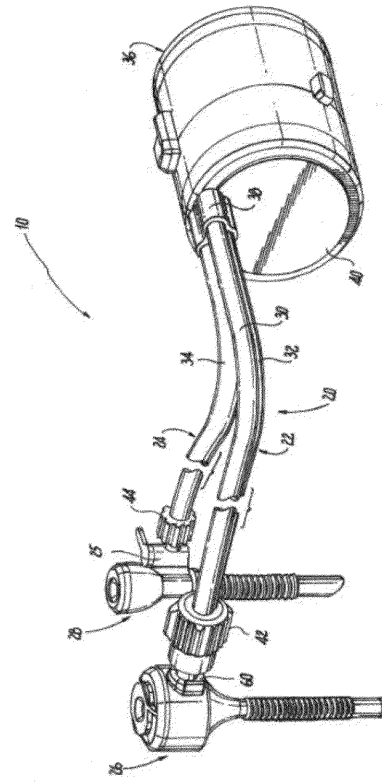
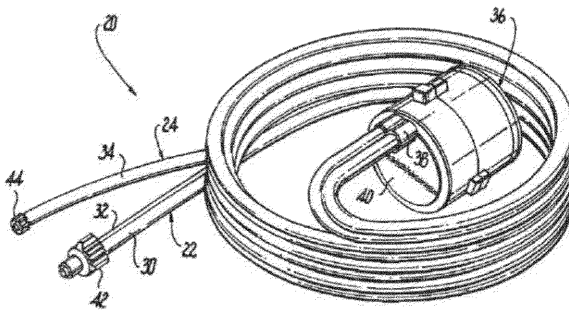


図2

【図 3】

図3



【図 4】

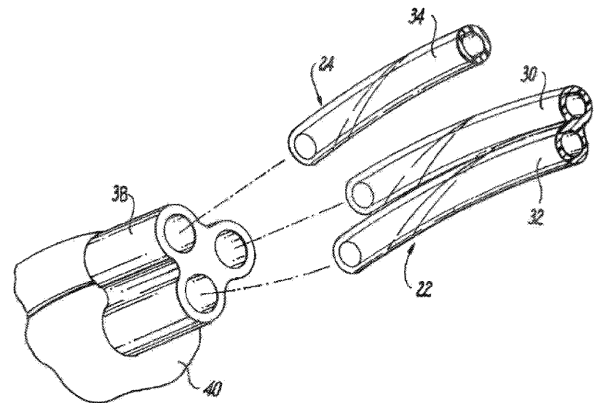
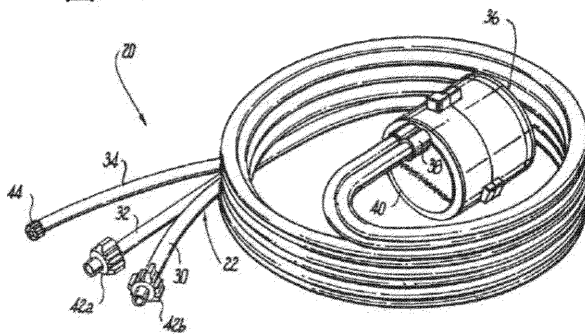


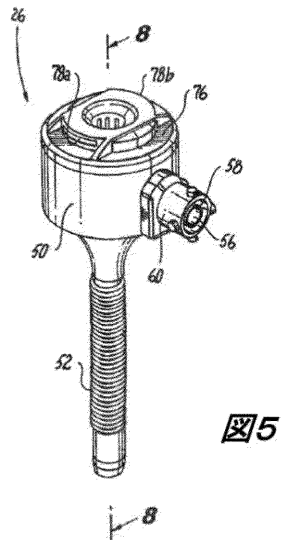
図4

【図 3 A】

図3A



【図 5】



【図 5 A】

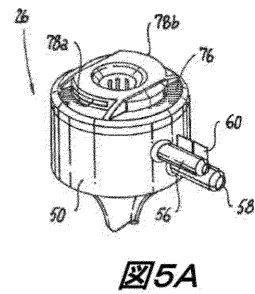
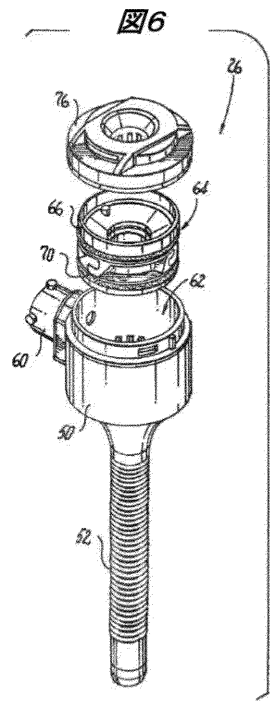


図5A

【図 6】



【図 7】

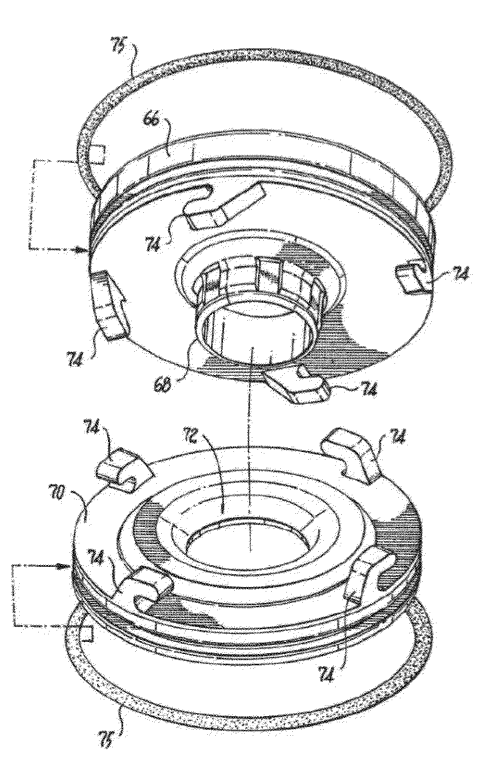
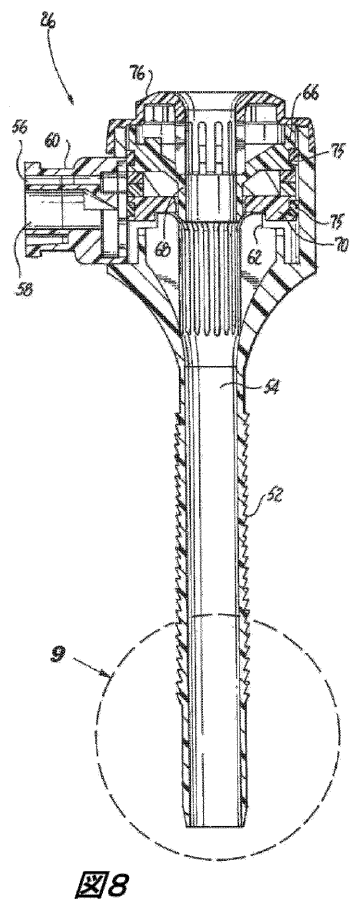
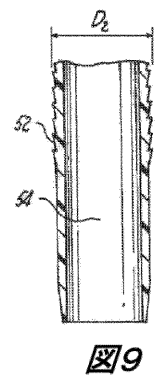


図7

【図 8】



【図 9】



【図 10】

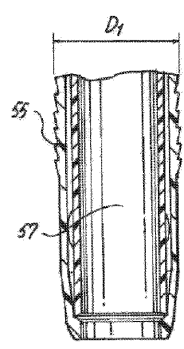
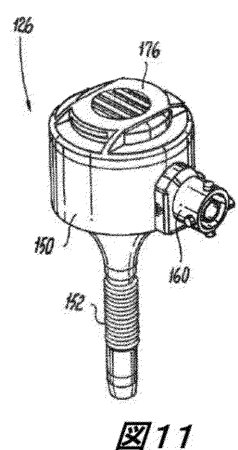
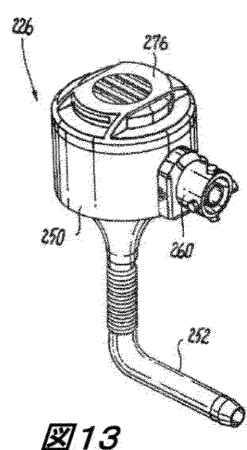


図10
(先行技術)

【図 11】



【図 13】



【図 12】

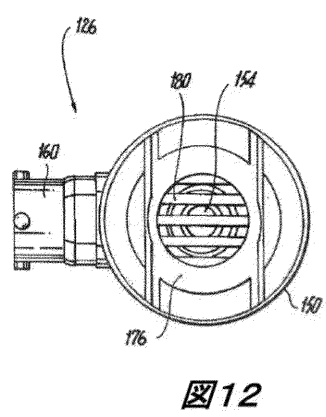


図13

図12

【図14】

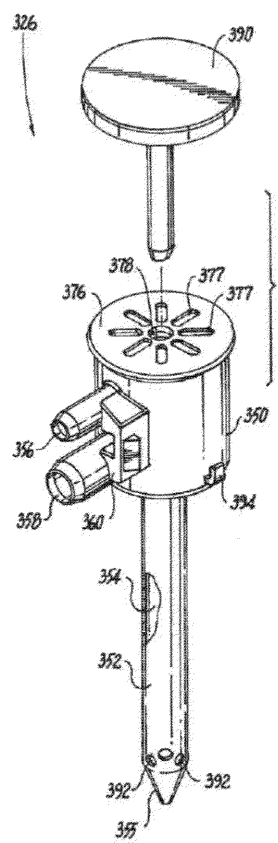


図14

【図15】

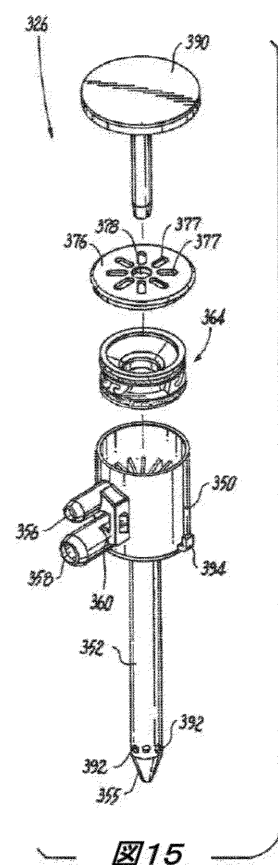


図15

【図16】

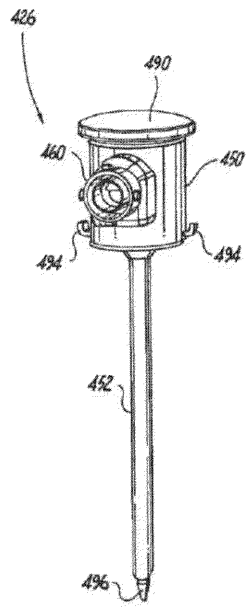


図16

【図17】

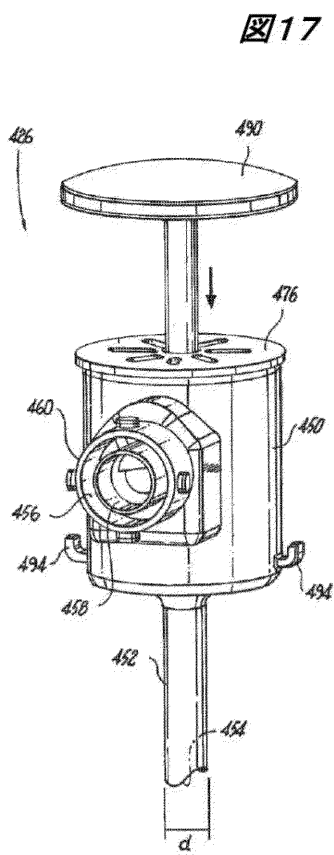


図17

【図 18】

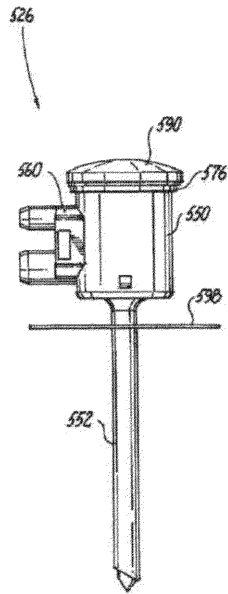


図18

【図 19】

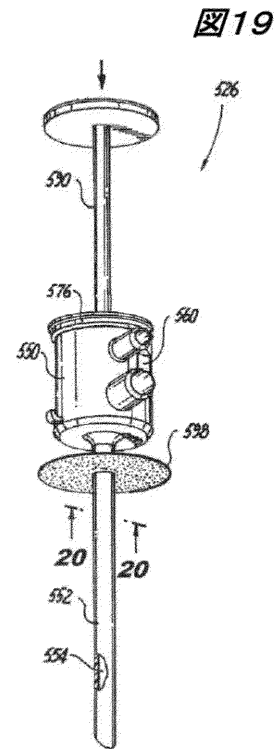


図19

【図 20】

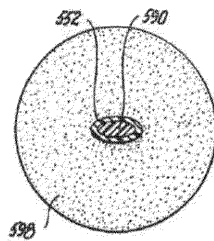


図20

【図 21】

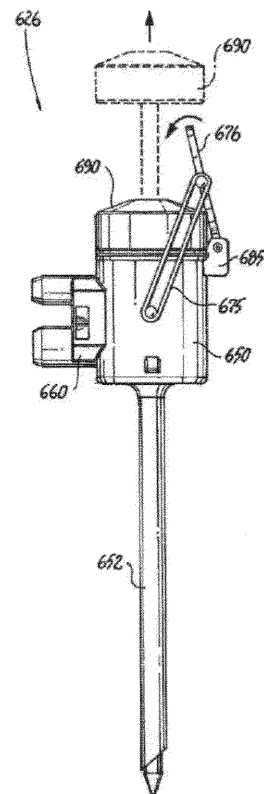


図21

【図 2 2】

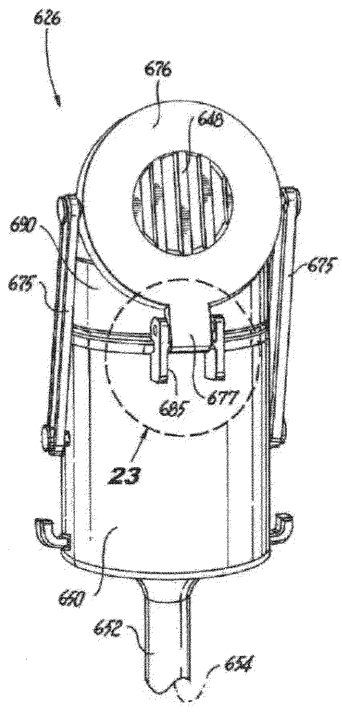


図22

【図 2 3】

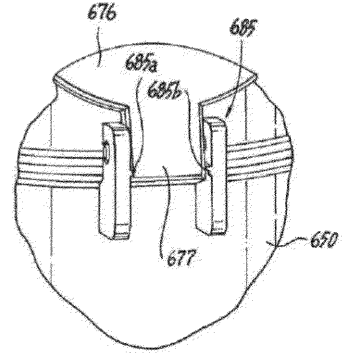


図23

【図 2 4】

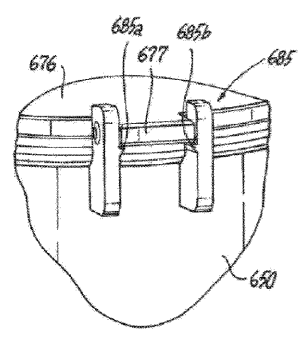


図24

【図 2 5】

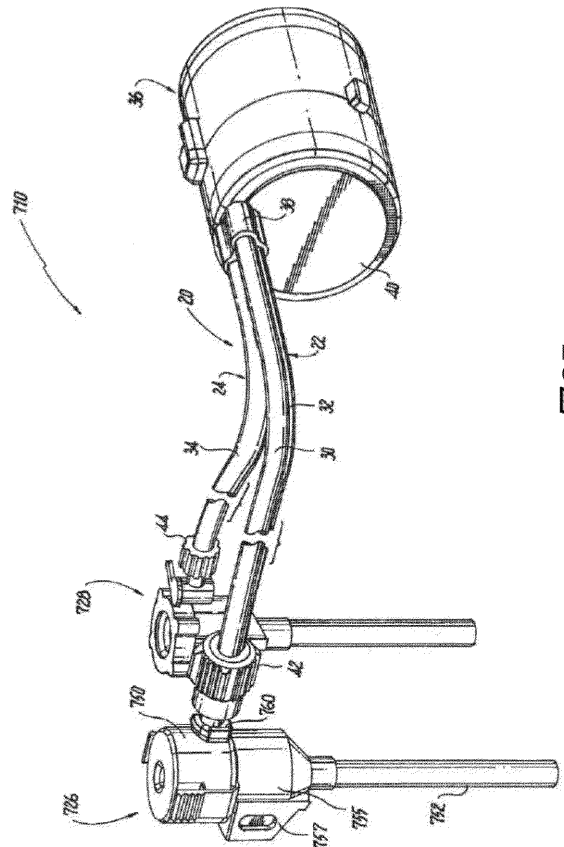


図25

【図 2 6】

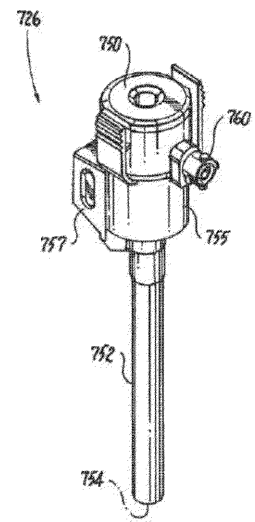


図26

【図 27】

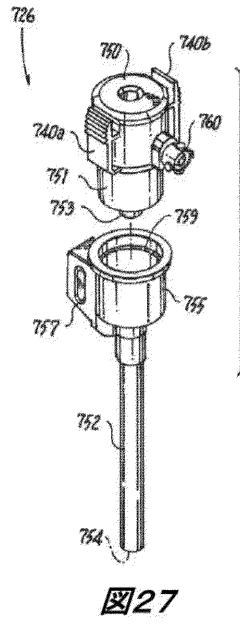


図27

【図 27 A】

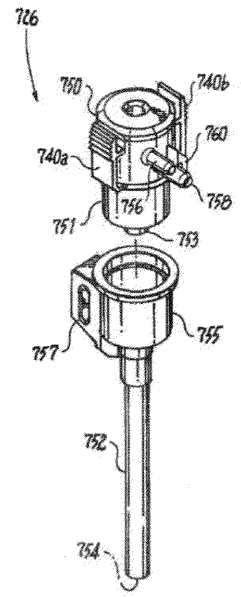


図27a

【図 28】

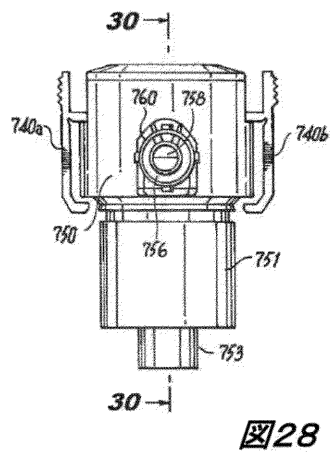


図28

【図 29】

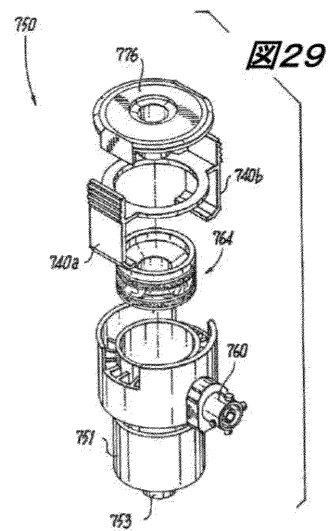
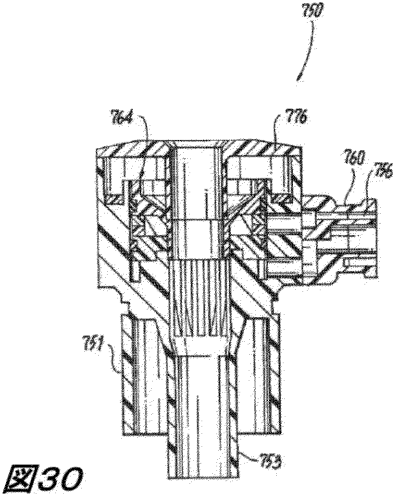
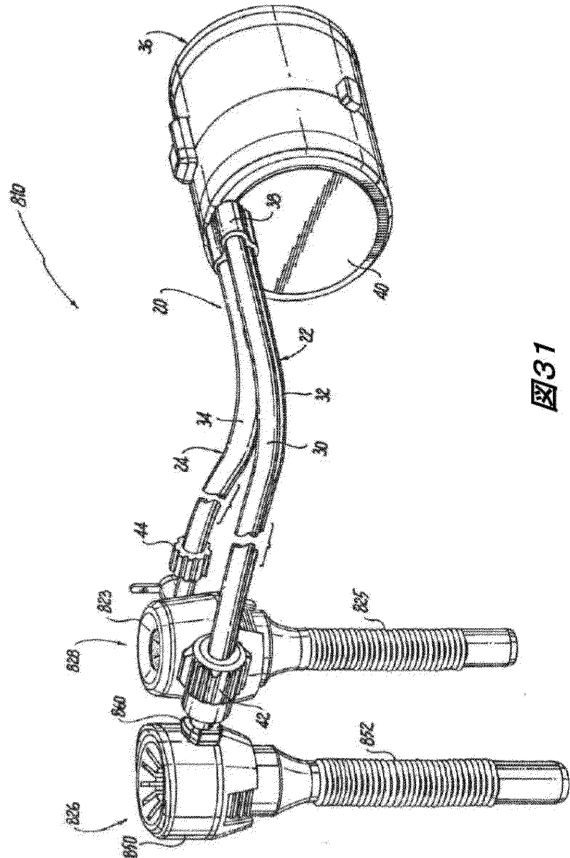


図29

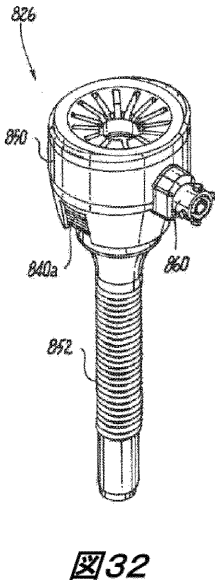
【図 3 0】



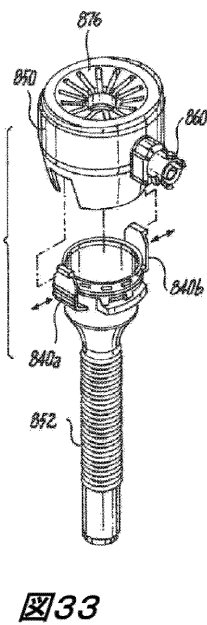
【図 3 1】



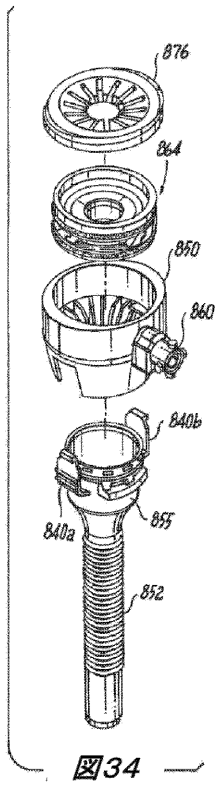
【図 3 2】



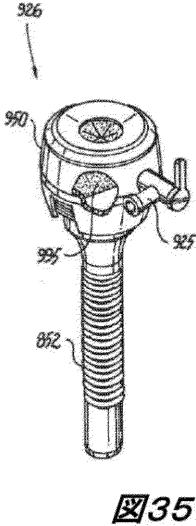
【図 3 3】



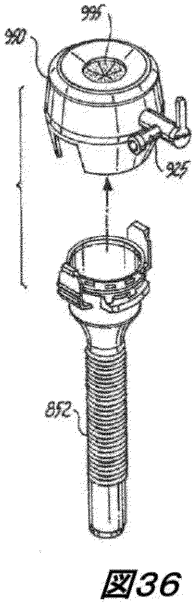
【 図 3 4 】



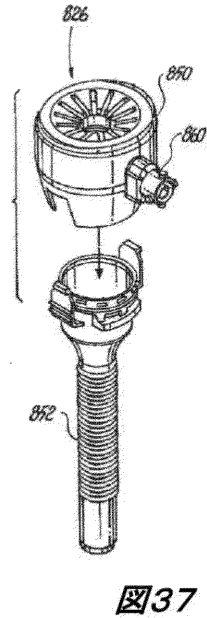
【 図 3 5 】



【 図 3 6 】



【 図 3 7 】



【図 38】

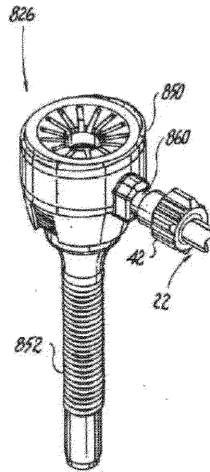


図38

【手続補正書】

【提出日】令和1年10月30日(2019.10.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するシステムであって、

a) 前記患者の前記外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための加圧ガスラインおよび戻りガスラインを有するデュアルルーメン部分と、送気用ガスを前記患者の前記外科手術空洞に送達し、前記患者の前記外科手術空洞内で定期的な圧力感知をするためのガス供給および感知ラインを有するシングルルーメン部分とを含むマルチルーメン管セットと、

b) 近位ハウジング部分と、該近位ハウジング部分から遠位に延び、かつ中央カニユーレを画定する細長いシングルルーメン管状体部分とを有する第一のアクセスポートであって、該第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記管セットの前記加圧ガスラインと連通する入口経路と、前記管セットの前記戻りガスラインと連通する出口経路とを有する第一のアクセスポートと、

c) 近位ハウジング部分と、該近位ハウジング部分から延びるシングルルーメン管状体部分とを有する第二のアクセスポートであって、該第二のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記管セットの前記ガス供給および感知ラインと連通する入口経路を有する第二のアクセスポートとを含む、システム。

【請求項 2】

30

40

50

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路からの加圧ガスを受けるため、かつ前記第一のアクセスポートの前記管状体部分の前記中央カニューレ内にガス密封ゾーンを生成し、前記患者の前記外科手術空洞内で安定した圧力を維持するための環状ジェット組立品を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 3】

前記第二のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記第二のアクセスポートの前記管状体部分を密封するための機械的な弁を含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 4】

前記管セットが、フィルターカートリッジ組立品と動作可能に関連付けられる請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 5】

前記第一のアクセスポートが、前記第二のアクセスポートと併せて、前記患者の前記外科手術空洞からの煙排出を実施するように適合され構成される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 6】

前記第一のアクセスポートが、前記外科手術空洞への空気の混入および器具のアクセスを許容するように適合され構成される、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 7】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路および前記出口経路を画定するマニホールドを備え、また前記入口および出口経路が前記マニホールド内で並列に配置されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 8】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路および前記出口経路を画定するマニホールドを備え、また前記入口および出口経路が前記マニホールド内で同軸に配置されている、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 9】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、前記第一のアクセスポートの前記マニホールドと結合するための同軸の流路を持つコネクタを含む、請求項 8 に記載のシステム。

【請求項 10】

前記管セットの前記シングルルーメン部分が、前記第二のアクセスポートの前記入口経路と関連付けられたルアータイプの取り付け具と結合されたルアータイプのコネクタを含む、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 11】

加圧ガスを前記管セットの前記加圧ガスラインに送達するための出口と、前記管セットの前記戻りラインから減圧ガスを受けるための入口を有するポンプを含み、外科手術ガス供給源から送気用ガスを前記管セットの前記ガス供給および感知ラインに送達するように構成された、ガス再循環装置をさらに備える、請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 12】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が前記第一のアクセスポートの前記管状体部分から分離可能な請求項 1 に記載のシステム。

【請求項 13】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記第一のアクセスポートの前記管状体部分と分離可能に係合するための正反対にあるばね付勢ラッチを含む、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 14】

前記第一のアクセスポートの前記管状体部分が、前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分と分離可能に係合するための正反対にあるばね付勢ラッチを含む、請求項 12 に記載のシステム。

【請求項 15】

10

20

30

40

50

患者の外科手術空洞内で内視鏡外科処置を実施するシステムであって、

a) 前記患者の前記外科手術空洞に対するガス再循環を促進するための加圧ガスラインおよび戻りガスラインを有するデュアルルーメン部分と、送気用ガスを前記患者の前記外科手術空洞に送達し、前記患者の前記外科手術空洞内で定期的な圧力感知をするためのガス供給および感知ラインを有するシングルルーメン部分とを含むマルチルーメン管セットと、

b) 近位ハウジング部分と、該近位ハウジング部分から遠位に延び、かつ中央カニユーレを画定する細長いシングルルーメン管状体部分とを有する第一のアクセスポートであって、該第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記管セットの前記加圧ガスラインと連通する入口経路および前記管セットの前記戻りガスラインと連通する出口経路を有し、該第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路からの加圧ガスを受けるため、かつ前記管状体部分の前記中央カニユーレ内にガス密封ゾーンを生成し、前記患者の前記外科手術空洞内での安定した圧力を維持するための環状ジェット組立品を収容する第一のアクセスポートと、

c) 近位ハウジングと、該近位ハウジング部分から延びるシングルルーメン管状体部分とを有する第二のアクセスポートであって、該第二のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、該第二のアクセスポートの前記管状体部分および前記管セットの前記ガス供給および感知ラインと連通する入口経路を密封するための機械的な弁を有する第二のアクセスポートとを備える、システム。

【請求項 16】

前記管セットが、フィルターカートリッジ組立品と動作可能に関連付けられる請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 17】

前記第一のアクセスポートが、前記第二のアクセスポートと併せて、前記患者の前記外科手術空洞からの煙排出を実施するように適合され構成される、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 18】

前記第一のアクセスポートが、前記外科手術空洞への空気の混入および器具のアクセスを許容するように適合され構成される、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 19】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路および前記出口経路を画定するマニホールドを備え、また前記入口および出口経路が前記マニホールド内で並列に配置されている、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 20】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記入口経路および前記出口経路を画定するマニホールドを備え、また前記入口および出口経路が前記マニホールド内で同軸に配置されている、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 21】

前記管セットの前記デュアルルーメン部分が、前記第一のアクセスポートの前記マニホールドと結合するための同軸の流路を持つコネクタを含む、請求項 20 に記載のシステム。

【請求項 22】

前記管セットの前記シングルルーメン部分が、前記第二のアクセスポートの前記入口経路と関連付けられたルアータイプの取り付け具と結合されたルアータイプのコネクタを含む、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 23】

加圧ガスを前記管セットの前記加圧ガスラインに送達するための出口と、前記管セットの前記戻りラインから減圧ガスを受けるための入口を有するポンプを含み、外科手術ガス供給源から送気用ガスを前記管セットの前記ガス供給および感知ラインに送達するように構成された、ガス再循環装置をさらに備える、請求項 15 に記載のシステム。

【請求項 2 4】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が前記第一のアクセスポートの前記管状体部分から分離可能な請求項 1 5 に記載のシステム。

【請求項 2 5】

前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分が、前記第一のアクセスポートの前記管状体部分と分離可能に係合するための正反対にあるばね付勢ラッチを含む、請求項 2 4 に記載のシステム。

【請求項 2 6】

前記第一のアクセスポートの前記管状体部分が、前記第一のアクセスポートの前記近位ハウジング部分と分離可能に係合するための正反対にあるばね付勢ラッチを含む、請求項 2 4 に記載のシステム。

フロントページの続き

(72)発明者 アウゲリ マイケル ジェイ .

アメリカ合衆国 0 6 7 1 2 コネチカット プロスペクト セーラム ロード 8 9

F ターム(参考) 4C066 FF01 JJ02 JJ03 NN20

4C161 AA24 HH02 HH09

4C267 AA33 AA77 HH30

【外国語明細書】

2020072830000001.pdf

2020072830000002.pdf

2020072830000003.pdf

2020072830000004.pdf

专利名称(译)	用于带单腔气体密封入口和单腔阀密封入口的气体循环系统的多腔管套件		
公开(公告)号	JP2020072830A	公开(公告)日	2020-05-14
申请号	JP2019182046	申请日	2019-10-02
[标]申请(专利权)人(译)	刀豆医学公司		
申请(专利权)人(译)	Konmeddo公司		
发明人	シルバー ミキヤ ケイン マイケル ジェイ. アウゲリ マイケル ジェイ.		
IPC分类号	A61M39/10 A61M25/02 A61B1/015		
CPC分类号	A61B17/3421 A61B17/3462 A61B17/3474 A61B17/3498 A61B2218/006 A61B2218/008 A61M13/006 A61M16/0858 A61M2205/3344 A61M2205/75 A61B2017/00477 A61B17/3423 A61B2017/3419 A61B2017/3445 A61M1/0023 A61M2202/0007 A61M2202/0014 A61M2202/0225		
FI分类号	A61M39/10.130 A61M25/02 A61B1/015.514		
F-TERM分类号	4C066/FF01 4C066/JJ02 4C066/JJ03 4C066/NN20 4C161/AA24 4C161/HH02 4C161/HH09 4C267 /AA33 4C267/AA77 4C267/HH30		
优先权	15/896291 2018-02-14 US 62/468417 2017-03-08 US		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

一种在患者的手术腔中执行内窥镜外科手术的系统（10），该系统包括多腔管组（20），该多腔管组包括具有加压气体管线（30）和回气的双腔部分（22）管线（32）用于促进气体相对于患者的手术腔的再循环，并且单个管腔部分（24）具有气体供应和感测线（34），用于将吹入气体输送到患者的手术腔并用于周期性地感测在患者手术腔内的压力下，第一气密封单腔入口（26）与管组（20）的双腔部分（22）连通，第二气门密封单腔入口（28）与管组（20）的双腔连通。管组（20）的单个内腔部分（24）。

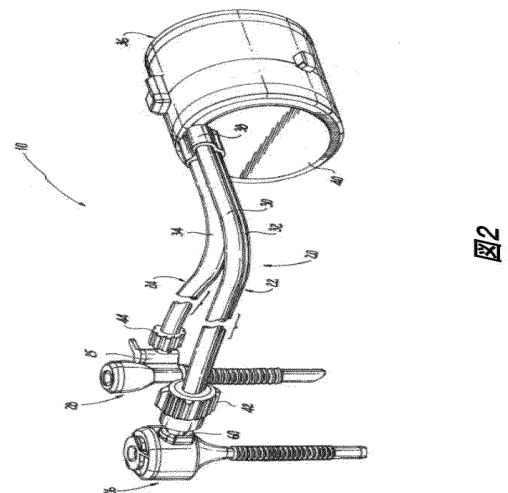


图2